ONKYO®

スピーカーシステム

D-412EX

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⦸記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く

必ずする

⚠ 警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐにアンプの電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■通風孔をふさがない、放熱を妨げない

禁止

本機を逆さまや、横倒しにして使用しないでください。

■水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

使用上のご注意

■本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機のダクトから異物を入れない

■長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■長期間大きな音で使用しない

禁止

本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。

⚠ 注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機に乗ったりしないでください。

■配線コードに気をつける

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

使用上のご注意

■音量を上げすぎない

- 突然大きな音が出てスピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったりデータが消失することがあります。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■本機の上にものを乗せたまま移動しない

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。
サランネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

■ 本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

各部の名前

ハイ　フリーケンシー
HIGH-FREQUENCY側端子

サランネット取り付けピン

ツイーター

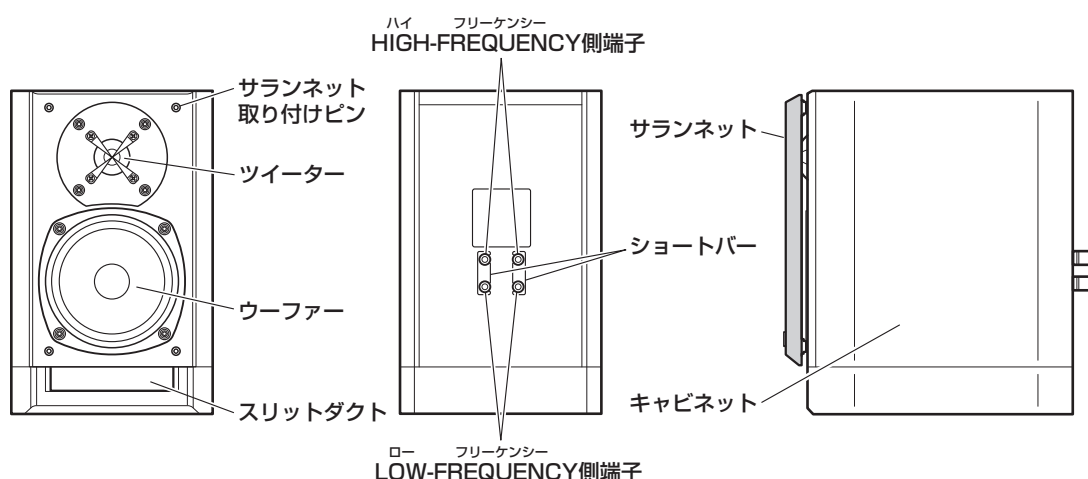
ウーファー

スリットダクト

サランネット

ショートバー

キャビネット

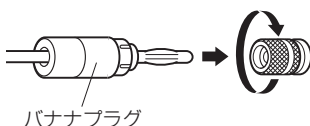
ロー　フリーケンシー
LOW-FREQUENCY側端子

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

接続のしかた

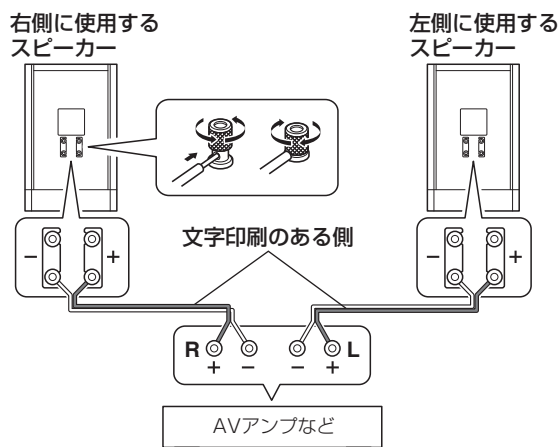
- 本機とアンプを接続するときは、アンプのボリュームは出力最小にし、電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- 本機の定格インピーダンスは4Ωです。接続するアンプは4Ωに対応したものをご使用ください。
- 右側に使用するスピーカーはアンプのスピーカー端子のR（右）に、左側に使用するスピーカーはアンプのスピーカー端子のL（左）に接続してください。
- 付属のスピーカーコードの文字印刷（MONSTER XPロゴ）のある方をプラス⊕端子に接続してください。プラス⊕とマイナス⊖を間違って接続すると、音が不自然になりますのでご注意ください。
- スピーカーコードのしん線はよくよじり、確実にスピーカー端子に接続してください。
- スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

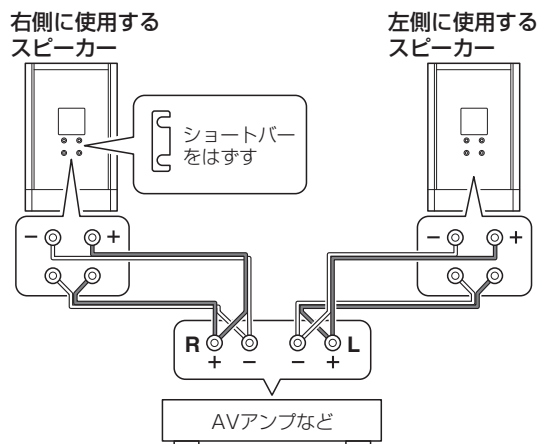
！ヒント

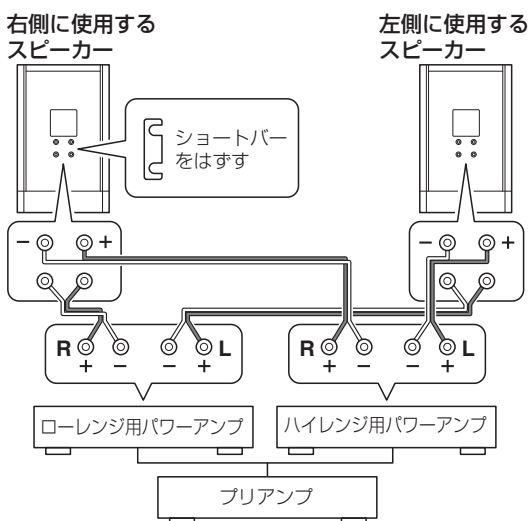
本機のスピーカー端子は市販のバナナプラグタイプのスピーカーコードを接続することもできます。その場合は、スピーカー端子のねじを締めてからプラグを端子中央の穴に差し込んでください。

■一般的な接続方法

1. ショートバーを取り付けたままでLOW-FREQUENCY側の端子をゆるめます。
2. スピーカーコードを端子の穴に差し込み、再び端子をしっかり締め付けてください。

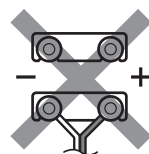
ご注意

HIGH-FREQUENCY側ショートバーがゆるむことがありますので、しっかり締め付けてください。

■バイワイヤリング接続方法
（付属のショートバーは使用しません。）

1. HIGH-FREQUENCY、LOW-FREQUENCY接続端子にそれぞれ別々のスピーカーコードを接続します。
2. アンプのスピーカー端子には、下図を参考にして極性を合わせてともに締め付けてください。

■バイアンプ接続方法
（付属のショートバーは使用しません。）

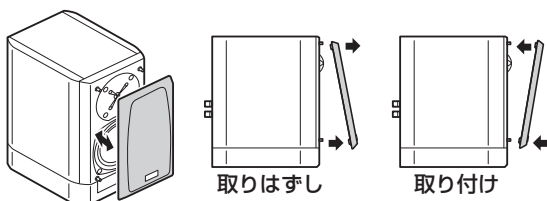
HIGH-FREQUENCY接続端子にはHIGH-FREQUENCY用アンプを、LOW-FREQUENCY接続端子にはLOW-FREQUENCY用アンプを、それぞれ独立して接続する方法です。⊕⊖の極性に注意して接続してください。

危険

回路の故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線のプラスとマイナスあるいはＬとＲなどを絶対に接触させないでください。

また、ショートバーは絶対にプラス側とマイナス側に接続しないでください。

使いかた

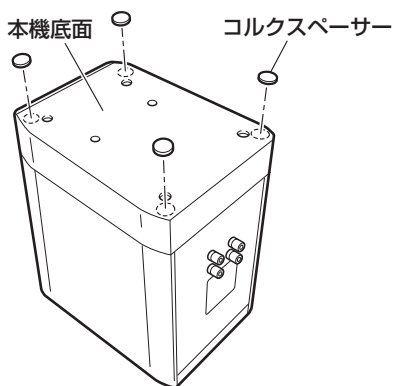
■サランネットの脱着

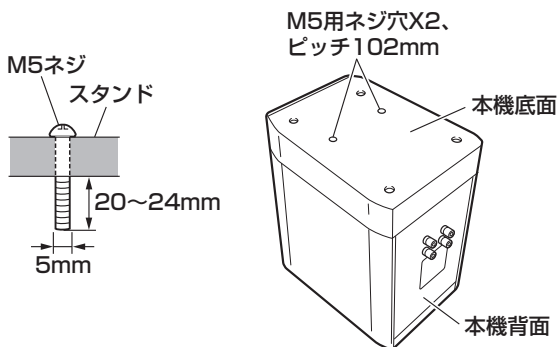
本機は前面のサランネットを取りはずすことができます。サランネットを取り付けたり、はずしたりするときは次のように行ってください。

1. サランネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの下側をはずします。
2. 同じようにサランネットの上側を手前に引っ張ると、サランネットは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、本体のサランネット取り付けピンにサランネットの四隅にあるホルダーを合わせて押し込みます。

■付属のコルクスペーサーを使う

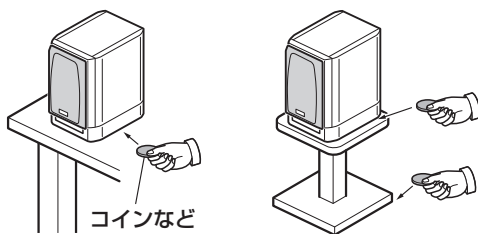
安定した設置と、より良い音でお楽しみいただくため、また可塑剤の移行*を防止するためにも、付属のコルクスペーサーを必ずお使いください。

コルクスペーサーは、図のように本機底面四隅に貼り付けてください。

*「可塑剤の移行」については、6ページの「設置する際のご注意」をご覧ください。

■市販のスタンドを使って固定するには

市販のスタンドを使用する場合、落下防止のため、スピーカー底面のネジ穴で固定することができます。取り付け方法については、ご使用になるスタンドの説明書をご覧ください。スタンドに取り付けるときは、スタンドや金具の厚みを考慮して有効ネジ長が20～24mmのものをご使用ください。

■スピーカーシステムの設置場所について

スピーカーシステムの音質は、それを設置する部屋の構造、広さ、家具の配置や大きさなどによって大きく変化します。より良い音で音楽を楽しんでいただくために、次のようなことにご注意ください。

- スピーカーシステムを床に直接置きますと、低音が出過ぎていわゆるブーミーな音になります。スピーカースタンドまたはブロック、レンガ、堅い棚等の上に置くようにしてください。
  このとき、スピーカースタンドと床との間、またはスピーカーシステムとスピーカースタンドとの間にガタツキがありますと、質の良い低音が得られませんので、コインのような金属板を使ってガタツキがなくなるようにしてください。

- 低音が足りないときは、スピーカースタンドを低くして堅い壁面の前に置くと、低音を豊かにすることができます。
- 一般に、部屋の中では家具や壁の影響で音質が変わります。できる限り左右の音響条件が揃うことが、ステレオ再生の場合、良い結果になります。
- お聞きになる位置（リスニングポジション）が左右のスピーカーシステムを底辺とした正三角形の頂点、または頂点より少しうしろになるように設置するのが理想的です。
- スピーカーシステムの正面にガラス戸や堅い壁があると、音が反射し、ある周波数だけ共振することがあります。このようなときは、厚手のカーテン等をかけて吸音処理をすることをおすすめします。

取り扱いについて

■リアルウッド突板仕上げキャビネットについて

突板仕上げの製品は、工業製品とは異なり、一つとして同じ木目模様のものはありません。これは原材料の木の年輪が表面にあらわれているためで、不規則な模様の変化や、濃淡の変化といった個性を持っています。
オンキヨーの製品は、自然が与えてくれる要素をできる限り生かしたいと考えています。このような個性も音楽を再現する道具の一部として味わってください。

■設置する際のご注意

本機を設置する場合には付属のスペーサーを必ず使用し、塗装部分が、可塑剤（かそざい）*を含む製品に直接接触しないようにご注意ください。本機の表面を被っている塗装皮膜は、可塑剤を含む製品に長時間接触していると、色移りしたり色落ちすることがあります。
これを「可塑剤の移行」と言い、可塑剤を含む製品に長時間接触することで、その製品に含まれている可塑剤が本機の塗装膜を軟化させることによって生じる現象です。

滑り止めシートやソファーなどは、製品によって可塑剤が含まれている場合があります。本機に接触することで色が移ったり、本機の色が落ちたりするトラブルが起こった場合は保証の対象とはなりません。

*可塑剤とは、ある材料に柔軟性を与えたり、加工しやすくするために添加する物質のことで、主に、塩化ビニール（塩ビ）を中心としたプラスチック製品に用いられます。可塑剤は次のような製品に使用されている場合があります。
- 合成皮革（ソファー、椅子、テーブルクロス、衣類など）
- 滑り止めシート
- 建材（壁紙、床材、天井材など）
- 電線被覆（家電製品のコード、ケーブル類）
- フィルム・シート（雑誌や書籍の表装、機器などに使用しているカバーなど）
- 塗料・接着剤・顔料（ダンボール箱や家具などの合板用）

■お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るかブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

■テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の技術基準に適合した防磁設計を施しているため、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし､設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

ご注意
- テレビなどの近くに置く場合、テレビから出ている電磁波の影響でオーディオ機器の電源を切っていてもスピーカーから雑音を発生することがあります。この雑音が気になる場合は、テレビからさらにスピーカーを離してご使用ください。
- 本機のスピーカーユニットには、非常に強力な磁石を使用しております。スピーカー前面にドライバー等の金属を近づけないでください。また、キャビネット上、側面、前面にキャッシュカード、フロッピーディスク等の磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■取り扱い上のご注意

本機は通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

主な仕様

形式	：2ウェイ バスレフ型
定格インピーダンス	：4Ω
最大入力	：200W
定格感度レベル	：85dB/W/m
定格周波数範囲	：37Hz～100kHz
クロスオーバー周波数	：3kHz
キャビネット内容積	：10.6リットル
外形寸法（幅×高さ×奥行）	：214×347×323mm（サランネット、ターミナル突起部含む）
質量	：10.2kg
使用スピーカー	：ウーファー（15cm A-Silk OMF コーン型） ツイーター（4cm リング型）
ターミナル	：バナナプラグ対応ネジ式スピーカーターミナル、バイワイヤリング対応
防磁設計	：有（JEITA）
付属品	：スピーカーコード（MONSTER XP）1.8m（2本）、 コルクスペーサー（8個）、取扱説明書（本書）（1）、保証書（1）、 オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）、ユーザー登録カード（1）

※ 仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法や仕様は同じです。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名 D-412EX
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　(　　)

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎050-3161-9555　受付時間　10：00～18：00
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

G0908-1

SN 29400114

29400114